

## 第18回日本スカウトジャンボリー基本実施要項

2021年10月5日理事会承認

### ■ 日本スカウトジャンボリーの開催にあたって ■

日本スカウトジャンボリーは、全国のスカウトと指導者、その他の参加者を交え、班制教育と各種の進歩制度と野外活動など、スカウト教育の基本を重視した質の高いスカウト活動をとおり、「ちかい」と「おきて」の実践を促進させる機会として、また、設定されたプログラムに参加することにより、新たな発見や感動を体感するとともに、スカウト同士の友情の絆を結び、参加者相互との交流を通じて、青少年の自己成長を促すための我が国スカウト運動最大の教育イベントとして開催される。

日本連盟としては、大会全体を通しスカウト運動が取り組むべき課題や将来への展望を検証する機会として捉え、青少年の現在と将来に係わりの深い課題を取り入れたプログラムを地域社会や関係組織・諸団体と一体となって展開し、本運動の果たす役割や具体的な活動内容を国内外の社会に広くアピールし、スカウト運動の一層の躍進を図る契機とも捉えている。

### ■ 第18回日本スカウトジャンボリーの目的 ■

第18回日本スカウトジャンボリーは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により停滞しているスカウト活動の再興を目指し、ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念大会として、本大会に参加する青少年たちが、平素培ったスカウト訓練を基盤に、より多くのスカウト仲間との相互交流を通じて、日本連盟創立100周年を目指した長中期計画にある、冒険的で楽しい野外活動を行いながら奉仕活動に励む「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目指す大会とする。

### ■ 新たな様式での大会開催 ■

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初計画されていた日本全国から東京に集まるキャンプ大会では、スカウトの安全を確保することは難しいことから、感染症拡大の対策を講じて思う存分スカウトキャンプを行うなど、コロナ禍で停滞している全国の活動が活発になる機会となるよう、次の新たな様式にて開催することを提案する。

#### 1. 一極集中を避けて分散開催する

2022年8月7日～8日間の2日間をコア期間として、東京の中央会場と全国各地にサテライト会場を設置して分散開催する。

#### 2. 東京ジャンボリー大集会

2022年8月7日（日曜日・予定）に全国からの代表スカウトが集まり、サテライト会場や全国各地とオンラインでつないだスカウトプログラムを実施する。

#### 3. ジャンボリーサマー2022

2022年の夏休み期間を「ジャンボリーサマー2022」と位置づけ、県連盟、地区、団、隊などで行う様々なキャンププログラムを18NSJとして認める。

#### 4. 全国代表スカウトキャンプ（仮称）

全国47都道府県より代表スカウトが中央会場に集まり、スカウトキャンプを通じ相互理解をはかり、全国への発信を行う。

## I 第18回日本スカウトジャンボリーの概要

### 1. 名称

第18回日本スカウトジャンボリー（略称：18NSJ）

### 2. テーマ

「100<sup>+</sup>f ～自分のfを探せ～」

（ひやくプラスエフ じぶんのエフをさがせ）

日本連盟創立100周年記念大会として、大会に参加したスカウトたちによりこれまでの100年間の歴史を振り返り、これからの100年を築き上げる契機となるよう、自ら考えるf（future friend family faith fun face fuji など）を探して未来に向かっていく、スカウトの自主性と発信していく姿を表すテーマとした。

また、サテライト会場等で独自のテーマを追加的に設定することを歓迎する。

### 3. 大会ロゴマーク

100周年記念となる特別な大会として日本中で開催されるよう、日本で古来からお祝いごとに使われる赤・白・金の3色で表現し、その中に「第18回」と「100周年」を表す数字と、テーマである「F」を組み込んでいる。

次の100周年に、無限の可能性を見据えた「無限大（インフィニティ）」をデザインに入れ、さまざまなモノへの繋がり表す六角形とした。

また、文字内の「ALL OVER JAPAN」の「O」は日本中との「コネクト」を表現している。



### 4. 会場

#### (1) 会場の種類

- ① 中央会場
- ② サテライト会場
- ③ 県連盟が設置する会場
- ④ ジャンボリーサマー2022会場

#### (2) 会場の名称

各会場および大会の名称については、次のとおり表記する。

- ①サテライト会場の場合 第18回日本スカウトジャンボリー ◎◎◎ブロック●●●サテライト会場
- ②県連盟等が設置する会場の場合 第18回日本スカウトジャンボリー ◎◎◎ブロック●●●会場  
（◎◎◎はブロックの名称とし、●●●は開催県連盟や開催場所、施設名称等任意の表記を各会場で定める）

### 5. 日程

長期キャンプの実施という観点から5泊6日間のスカウトキャンプを標準とし、各会場に応じて日程を検討する。

### 6. 参加者

#### (1) 参加の対象と要件

加盟員のボーイスカウトおよびベンチャースカウトを対象とし、活動を支援する成人指導者とともに参加する。スカウトおよび未成年の指導者の参加にあたっては、保護者の同意を得ること。

ガールスカウトおよび外国連盟からの参加者については、各会場の実情に応じて検討する。

参加にあたっては次の要件を基準とする。

- 大会が指定するプログラムに参加すること
- 県連盟が定めるキャンプ生活を送ること
- ボーイスカウトの班を編成すること
- ベンチャースカウトは日本連盟が別途定めるプログラムに参加すること

## (2) 外国参加者の受け入れ

今回の大会は分散開催となるため、日本連盟としての外国連盟へ公募型の案内は行わない。

ただし、県連盟・地区・団等で友好関係がある外国隊を招待する場合は、事業実施6か月前までに「外国スカウト受入計画」の承認申請により、申請があった分散開催地への案内を行う。その場合は入国から帰国までの対応は申請組織が責任を行うことを前提とする。

## 7. プログラム

全国共通のプログラムと各会場の特色を活かしたプログラムにより構成していく。全国各地の活動が共有できるようウェブ等のICT技術を活用して活動の記録や発信ができるようにする。

具体的なプログラム内容については、各隊のプログラムに取り入れて参加に向けた準備が進められるよう提案する。

### (1) 全国共通プログラム

- ① 日本一プログラム  
班対抗によるスカウト技能を競う日本一プログラムを設定する（班旗立て、火起こし、手旗）。
- ② 信仰奨励（班や隊でのスカウトズタウン・サービスなど）
- ③ SDGsプログラム（班で決めたSDGsプログラムに取り組む）

### (2) サテライトプログラム

- ① 野営生活
- ② 交流プログラム
- ③ 奉仕、地域貢献等各地域のプログラム

## 8. 実行委員会の編成と準備組織

新たな様式での大会開催に向けて、次の5つの部署にて準備を進める。

### (1) 運営本部

大会本部各部との連絡調整・会議等に関すること、参加者の申し込み・受付に関すること  
外国参加者・他団体参加の調整に関すること、大会の危機管理に関すること

### (2) プログラム部

標準プログラムの立案に関すること、ジャンボリーアワードに関すること

### (3) 会場統括部

会場統括部には各ブロックからの委員を追加して編成する。  
サテライト会場・県連盟が設置する会場との調整に関すること、ジャンボリーサマーの把握に関すること

### (4) プロモーション部

大会の情報提供に関すること、SNSや専用アプリを活用した参加者のコミュニケーションに関すること  
大会の露出媒体に関すること、報道機関に関すること、大会に記録に関すること、スカウト通信プログラムに関すること、大会記念品に関すること

### (5) ジャンボリー大集会部

ジャンボリー大集会の計画と実施に関すること、大集会会場の運営に関すること

## 9. その他

新たな様式での開催について、加盟員への浸透と社会への発信のために、特設のウェブサイトやSNSを利用して事前のプロモーションを行う。また、全国各地の事前の計画アイデアや期間中の活動状況についても広

く社会にも発信していく。

スマートフォンなどで利用できる「18NSJアプリ」を提供し、プログラムガイドとしても活用する。

また、8月7日に開催予定の東京ジャンボリー大集会では、サテライト会場と中継でつなぎ、全国のスカウトをオンラインでつなぐプログラムを提供していく。

## Ⅱ サテライト会場の実施概要（参考例）

2022年8月7日～8日間の2日間をコア期間として、東京の中央会場と全国各地のサテライト会場、および希望する県連盟が設置する会場を含め、分散開催する。

### 1. 目的

1ページの「18NSJの目的」を参照して、各会場で定める。

### 2. 期間

2022年8月7日～8日間の2日間を含む、5泊6日間のスカウトキャンプを標準とし、開設する各ブロック・県連盟で検討する。

プログラム活動を十分に提供するとともに、自発活動に基づくゆとりのあるキャンプ生活を実践するため、また、日本連盟で提唱するスカウト教育を十分に発揮するための長期キャンプの実施という観点から大会期間（入場から退場まで）を5泊6日間を標準とする。

#### 〈中央会場の標準日程例〉

日数	主な行事	午前	午後	夜間
前日	大会運営スタッフ入場・設営準備作業	大会運営スタッフ入場・設営		準備作業
8月5日	参加者入場・設営・開会式	参加者入場・設営		開会式
8月6日	プログラム	プログラム①	プログラム②	
8月7日	プログラム	プログラム③	ジャンボリー大集会	
8月8日	プログラム	プログラム⑤	プログラム⑥	
8月9日	プログラム・閉会式	プログラム⑦	プログラム⑧	閉会式
8月10日	撤営・参加者退場	撤営・参加者退場		
8月11日	撤営・大会運営スタッフ退場	撤営・大会運営スタッフ退場		

### 3. 会場

東京の中央会場と全国各地のサテライト会場に分散して開催する。施設の収容能力を遵守し十分な感染対策を講じるため、参加者の健康管理が可能な規模を各会場で設定する。

各会場には、他の県連盟やブロックからの参加者受入も計画する。

### 4. プログラム

各会場のプログラムは2ページに示す全国共通プログラムとサテライトプログラムで構成する。各会場では開催地域の特色を活かしたプログラムを企画・立案する。

### 5. 予算・大会参加費

会場ごとに各計画と参加人数に基づいて予算を立案し、参加者負担金と、ブロックまたは県連盟の負担により運営する。

#### (1) キャンプに要する経費

施設利用料、食料費、プログラム費用等

#### (2) 運営に関する経費

会場ごとの事前準備や、期間中の運営に掛かる経費

#### (3) 参加者共通経費

日本連盟は、次の共通経費を徴収する。一人あたりの金額2,000円程度とし、納入方法は別に定める。

- 大会参加章等の参加者支給品

- 会場装飾品（バナー、のぼりなど）
- プログラムに要する経費（共通プログラム、アプリ使用等）

#### （4）日本連盟負担金

主に次の経費を日本連盟から負担する。

- 実行委員会等事前準備や、期間中の運営に要する経費
- サテライト会場をつなぐ通信環境・設備
- サテライト会場の非常対策費

### 6. 参加申し込み手続き

#### （1）ブロックを超える参加者

日本連盟では、サテライト会場の設置状況を取りまとめて、ブロックを超える参加者を調整する。

ブロックを超える参加については、2022年1月より参加申し込みを開始し、3月末を締め切りとする。日本連盟は、参加者を調整のうえ、4月中旬に結果を通知する。

参加が決定した者は、所属の県連盟を通じて、参加費等を納入する。参加費の納入については、別に定める。

#### （2）ブロック内の参加申し込み

サテライト会場設置県連盟は、ブロック内の参加人数枠を調整のうえ、参加予定申し込みを行う。

参加申し込みや事前予約に基づく予定人数を4月上旬までに日本連盟に報告し、参加に要する経費を取りまとめて5月末までに日本連盟へ納入する。

#### （3）県連盟内の参加申し込み手続き

参加者は、所属の県連盟（もしくは地区）を通じて、サテライト会場設置県連盟へ参加申し込みを行う。

県連盟は参加申し込みを取りまとめてサテライト会場設置県連盟へ報告し、サテライト会場設置県連盟が定める期日までに参加に要する経費を納入する。

ブロックを超える参加者については日本連盟へ報告し、参加が決定した者は、所属の県連盟を通じて、サテライト設置県連盟が定める期日までに参加に要する経費を納入する。

### Ⅲ 東京ジャンボリー大集会の実施概要

2022年8月7日（日）に全国からの代表スカウトが集まり、全国とオンラインでつないだ一日型のスカウトプログラムを実施する。

#### 1. 目的

全国から集まる代表スカウトと、中央会場・サテライト会場の参加者をオンラインでつなぐことで、参加者等による出し物や各地の活動状況を共有し、第18回日本スカウトジャンボリーの一体感を醸成する。

また、全国のスカウトともオンラインでつなぎ、創立100周年を祝う。

#### 2. 日程

2022年8月7日（日）※予定

#### 3. 場所

東京都大田区総合体育館

可能な限りサテライト会場とオンラインでつなぎ、中継等を行う。

#### 4. 参加者・申し込み手続き

プログラム内容と施設の収容人数を勘案して、都道府県連盟にスカウトと指導者の参加人数を割り当てる。

また、会場周辺の希望するスカウト関係者を、事前申し込みにより受け入れる。

参加人数の割当てと調整、参加申し込み手続きは別に定める。

また、来場したスカウト以外も出演できるよう各地で実施しているものを中継したり、事前に撮影した映像の投稿を受け付けるなどして、様々な参加の機会を検討する。

#### 5. 予算・参加に要する費用

##### (1) 往復交通費・前後の滞在費

居住地から会場までの往復交通費と前後に宿泊が必要な場合には、参加者が手配・負担する。

##### (2) 参加者負担金

参加記念品や支給品等参加者に還元される内容は参加者負担金として徴収する。

## IV ジャンボリーサマー2022実施概要

2022年の夏休み期間を「ジャンボリーサマー2022」と位置づけ、次の概要に基づく、県連盟、地区、団、隊などで行う様々なキャンププログラムを18NSJとして認定する。

### 1. 目的

1ページの「18NSJの目的」を参照して、実施する隊・団等で検討し、県連盟が認める。

### 2. 期間

2022年の夏休み期間に、5泊6日間のスカウトキャンプを標準とし、実施する隊・団等で検討する。  
プログラム活動を十分に提供するとともに、自発活動に基づくゆとりのあるキャンプ生活を実践するため、また、日本連盟で提唱するスカウト教育を十分に発揮するための長期キャンプの実施という観点から5泊6日間のスカウトキャンプを標準とする。

### 3. プログラム

各会場では県連盟が示すキャンプ生活を送り、2ページに示す全国共通プログラムを取り入れて、開催地域の特色を活かしたプログラムを企画・立案する。

### 4. 認定手続き

2ページに示す大会概要に基づいて計画、運営する場合には、第18回日本スカウトジャンボリーとして認定を受けることができる。認定は県連盟が行い、その手続きの詳細は別に定める。

### 5. 予算・大会参加費

会場ごとに各計画と参加人数に基づいて予算を立案し、参加者負担金と実施する主体（県連盟、地区、団等）の負担により運営する。

大会参加章等の参加者支給品の参加共通経費を所属県連盟を通して日本連盟に納入する。一人あたりの金額は2,000円程度とし、次の経費に充てる。

- 大会参加章等の参加者支給品
- プログラムに要する経費（共通プログラム、アプリ使用等）



## V 代表スカウトキャンプ実施概要

100周年の記念する第18回日本スカウトジャンボリーの県連盟代表として、中央会場でのキャンプ生活と東京ジャンボリー大集会への参加を通じた日本スカウトジャンボリーの経験を各地に持ち帰り、全国大会の意義を共有する。

### 1. 目的

ボーイスカウト活動の基本である野外活動（野営）を通じて、その重要性を再認識すると共に野外活動に必要なウッドクラフト（森林生活術）を体得し、そのウッドクラフトを通じて自隊の班、隊の仲間への指導的役割を果たせるように実践する。

### 2. わらい

- (1) 一級スカウトに必要な、スカウト技能、知識を再確認するとともに、リーダーシップを発揮し、自隊の後輩スカウトおよび仲間へ学んだことを指導ができるようにする。
- (2) 本格的なスカウトキャンプを実施することにより、様々なウッドクラフト（森林生活術）の技能を学び実践できるようにする。
- (3) チームワーク、スカウト技能・知識、体力で乗り越えていくもので、躍動的で系統的な活動プログラムを設定する。
- (4) 進級・履修細目の認定は、所属隊長の専任事項であるとの見地から、スカウト進級細目の履修は主体としない。

### 3. 期間

2022（令和4）年8月5日（金）～10日（水） 5泊6日間

#### 〈日程表〉

全体行事

日数	日程	主な行事	午前	午後	夜間	宿泊
第1日	8月5日(金)	参加者入場・設営・開会式		参加者入場・設営	開会式	日向
第2日	8月6日(土)	プログラム	プログラム①	プログラム②		
第3日	8月7日(日)	移動・ジャンボリー大集会	撤営・移動・設営	ジャンボリー大集会		平和島
第4日	8月8日(月)	プログラム	撤営・移動・設営	プログラム③		日向
第5日	8月9日(火)	プログラム・閉会式	プログラム④	プログラム⑤	閉会式	
第6日	8月10日(水)	撤営・参加者退場	撤営・参加者退場			

### 4. 会場

#### (1) 東京連盟日向野営場

千葉県山武市森1002-1 JR総武本線日向駅から徒歩約20分

#### (2) 大田区立平和島公園キャンプ場

東京都大田区平和島四丁目2番2号 京急線平和島駅から徒歩約10分

#### (3) 大田区立総合体育館（東京ジャンボリー大集会会場）

東京都大田区東蒲田1丁目11番1号 京急線蒲田駅から徒歩約7分

### 5. 参加者

参加するスカウトおよび指導者は、令和4年度の加盟登録を有し、日程表に示す8月4日から8月9日までの5泊6日間のキャンプ生活に十分に耐えうる健康とキャンプ技能を有するよう各県連盟が責任を持って訓練する。

また、スカウトおよび未成年の指導者の参加にあたっては、保護者の参加の同意を得ること。

- (1) スカウト           各県連盟から2人、計94人  
ボーイスカウトでキャンプ参加時までに1級スカウト章以上を有する者。
- (2) 隊指導者（生活担当）       各ブロックから2～3人、計14人  
隊指導者基礎訓練課程のボーイスカウト課程を履修した者で、将来の人材育成につながるよう35歳以下が望ましい。  
参加スカウトに女子が含まれる場合は、指導者のうち、少なくとも1人は女性とする。
- (3) 運営スタッフ（プログラム担当）       東京連盟および近隣の県連盟からの指導者を予定

## 6. 隊・班の編成

各ブロックのスカウトは、6人～8人による班を編成し、2つのブロックにより隊編成を行う。  
引率する各指導者は、隊長・副長の役務分担を行い、隊を運営する。

## 7. 参加費

1人あたり25,000円程度とする。また、居住地から会場までの往復交通費は日本連盟が負担する。